

アニメツーリズム推進費について

1. 『弱虫ペダル』の概要

秋田書店の『週刊少年チャンピオン』に2008年から連載中であり、単行本では70巻発行されている。単行本の売上げ総数は2,500万部を超える人気作品であり、2020年夏には、人気アイドルを起用し、実写映画化されている。

2. 作者について

『弱虫ペダル』の作者は長崎市出身の漫画家・渡辺航（わたる）氏であり、本事業における企画展やデザインマンホールの製作等ご協力をいただけることとなっており、アニメを活用するにあたって課題となる著作権等の許可関係が比較的容易となり、事業が行いやすく、今後のタイアップの継続が見込める。

3. ストーリーについて

ママチャリで千葉から秋葉原に通う、いわゆるオタク高校生である主人公の小野田坂道がチームで戦う自転車競技を題材にした物語となっており、インターハイ優勝を目標に、全国のライバル校と切磋琢磨するスポーツ漫画である。

4. 登場人物（キャラクター）について

1チーム6人で競技を行う自転車競技（ロードレース）において、各登場人物には個性がある。例えば、主人公の小野田坂道は、小学生の頃からママチャリで秋葉原に通ったことで、登り坂を得意とするクライマーとして活躍するといった特徴がある。

したがって、これまでサイクリングのイメージが無かった長崎市においても、本作品との親和性が高い。

5. デザインマンホールのイメージ

市内21カ所に設置するデザインマンホールは、各設置場所の風景やキャラクターの特徴を活かし、渡辺氏に新たに執筆いただくものを含む予定。



【水道局・教育委員会との連携】

【文化観光部】

●アニメツーリズムの推進

(1)「弱虫ペダル」原画等企画展

(2)「弱虫ペダル」周遊コース造成

➢デザインマンホールの製作

➢デジタルスタンプラリー製作

(3)周遊コース完成・コラボ記念ライド

(4)漫画家・渡辺航氏の講演会

連携

連携

【水道局】

●水道創設 130 周年記念事業

➢水道資料室リニューアル

●下水道供用開始 60 周年記念事業

➢下水道 60 周年記念式典

➢「弱虫ペダル」デザインマンホール設置

【教育委員会】

●まちづくりアイデアコンテスト

➢優秀賞『「弱虫ペダル」と連携した
ロードレース大会の開催』